



# news release

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 〒004-8588 札幌市清田区清田一条一丁目2番1号  
[URL] <http://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

2017年5月25日

報道関係 各位

## 今年も始まる!! 食物の循環を学ぶ環境教育プログラム 旭山動物園 循環型農園 「つながる輪『いのち』」 ～2017年5月27日(土) 農園開き～

北海道コカ・コーラボトリング株式会社（本社：札幌市清田区 代表取締役社長：佐々木 康行）は、旭山動物園内で 2010 年より取り組んでいる、環境教育プログラム“循環型農園”「つながる輪『いのち』」（以下、同プログラム）の本年度の活動を、2017年5月27日(土)よりスタートいたします。

同プログラムは、2008年に当社と旭川市との間で締結した「魅力的なまちづくりに関する基本協定」に基づき、2010年から旭山動物園内休憩スペース「やすらぎの森」横にて、旭山動物園と当社を含む協力団体が協働して農園を開墾し、地域の高校生をはじめとする市民が中心となって農作物の栽培を行うもので、農園開きでは野菜の種まきと田植えのほか、4年前より整備を進めてきたビニールハウス内での「ホテルが生息できる環境づくり」とホテルの幼虫放流を行うとともに、秋には収穫祭も開催し、食物の循環をはじめとした環境について学ぶ機会を提供していきます。

つきましては、下記の通り農園開きを行いますので、ご多忙の折とは存じますが、取柄を賜りたくご案内申し上げます。

### 「つながる輪『いのち』」2017年農園開き

- 日 時：2017年5月27日(土) 午前10時から
- 場 所：旭川市旭山動物園やすらぎの森横「循環型農園」（旭川市東旭川町倉沼）
- 出席者：旭川市旭山動物園 園長 坂東 元 様  
当社 営業統括本部 第二本部 地域連携担当部長 福井 誠  
旭川実業高校、旭川農業高校、拓殖大学北海道短期大学など 約50名
- 内 容：①野菜の種まきと田植え ②ホテルの幼虫を放流

※天候不良により順延する可能性があります。



学生連による農園開きの様子



### 「つながる輪『いのち』」循環型農園

この農園は、動物の排泄物を利用した堆肥から農作物を作り、その作物が動物や人間の食料になることで食物の循環を学ぶ環境教育プログラムで、さまざまな企業・団体の協力により、今年度で開始8年目を迎えます。



### 「つながる輪『いのち』」応援自動販売機

旭川市内4ヶ所に設置している、「つながる輪『いのち』」応援自動販売機の売上金の一部は、この活動の運営費となります。

これは、当社製品をご愛飲いただく皆様から、旭川市の魅力的なまちづくりに応援していただく気持ちをお預かりして運営費とするものです。

## 協力団体の役割等

<敬称略>

協力団体	役割等
旭川実業高校	農園管理、堆肥管理
旭川農業高校	農園管理、堆肥管理
拓殖大学北海道短期大学	農園アドバイザー、作物育成指導
株式会社北海道録画センター	農園づくり支援、活動内容録画
花本建設株式会社	土、有機肥料提供と搬入
龍後設備株式会社	水廻り設備工事等支援
株式会社新見産業株式会社	焼丸太提供（柵）
有限会社旭川銘木	畑の囲い木枠用板提供
あさひかわ若者サポートステーション	農園管理支援
北海道労働者協同組合	農園管理支援
山田 有弘	ホタル提供
旭川市旭山動物園	トイレ管理、農園場所提供、水道光熱費負担
北海道コカ・コーラボトリング(株)	環境プログラム総合調整

## 自動販売機設置先

設置先	設置先の住所
ロッジヴィクトリア	旭川市春光台1条4丁目
木村下宿	旭川市末広4条2丁目
株式会社トラスポジャパン	旭川市末広6条1丁目
旭川市旭山動物園内やすらぎの森前	旭川市東旭川町倉沼

当社は、「北の大地とともに」をスローガンに、道産子企業として、北海道の魅力をさらに高める活動、地域課題解決への協力、次世代を担う子どもたちに将来の地球の姿を考える場の提供、安全で安心な地域づくりを応援する取り組みなど、事業活動を通して継続的に推進してまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

北海道コカ・コーラボトリング株式会社 広報・CSR推進部

担当：河西 TEL：011-888-2091

【ご参考】 当社の旭川での取り組み

## 魅力あるまちづくりに関する基本協定（締結日 2008年4月）

「魅力的なまち旭川づくり」を目指す旭川市と当社の双方が保有する資源等を活用することで、旭川市が特徴的な街となり、持続的に発展することを目的としています。具体的な取組みは、以下の通りです。

（同協定に基づいた取組み）

- 2008年5月より、「デジタル通信 あさひかわ」として、当社が所有する電光掲示板付き災害対応型自動販売機で、旭川市が発信する様々な環境情報・観光情報（施設・イベント等）を、市民や観光客へ提供するとともに、防災情報等のセーフティネットを構築するなど、地域情報ネットワークのツールとして当該自動販売機を活用しています。
- 2008年7月、旭山動物園という日本有数のメッセージ性の強い施設において、来園者がもっと「動物たちからのメッセージ」や「環境について」をゆっくりと話することができる憩いの場として利用できる「やすらぎの森」を園内に寄贈。
- 2010年4月より、学生主導による環境教育プログラム「つながる輪「いのち」」をスタート。旭山動物園内「やすらぎの森」横の「循環型農園」にて学生主導によって野菜栽培や収穫を行います。また、「ホタルが生息できる環境づくり」にホタルの幼虫を放流するなど、学生に、生き物の循環を体感してもらうとともに、来園者へ環境メッセージ等を伝えています。
- 2011年9月より、旭山動物園のテーマ「伝えるのは命」をより表現出来る理想の動物園を目指して、2007年（開園40周年）に創設された「あさひやま“もっと夢”基金」を応援し、飲料を購入するだけで寄付活動に参加することが出来る「あさひやま“もっと夢”基金自動販売機」の展開を開始しました。毎年4月に、前年度分の寄付金額を、自動販売機の設置ご協力団体様とともに贈呈する寄付式を行っています。
- 2011年11月より、子ども達が憧れの仕事にチャレンジし、楽しみながら社会の仕組みを学べる場を提供する「あさひかわキッズタウン」を毎年開催しています。2016年11月に開催された際には、全25もの団体が個性豊かな職業体験コーナーを用意し、小学校3～4年生を中心に590名が参加する大盛況のイベントとなりました。

